

## 1 導入システムの概要

(次ページ「運用時の流れ」参照)

### 【導入の目的】

- コーディネーター業務の効率化
  - ・ **1 医療機関に対する連絡時間の短縮**
- コーディネーターと医療機関間における情報伝達の向上
  - ・ **相互の認識違いを防ぎ、確実な情報伝達が可能**
  - ・ **伝える側として、誰が担当しても均一な情報伝達が可能**

### 【システムの概要】

- ・ 東京ルール事案の一時収容後の転院搬送において、救急患者受入コーディネーターが転院先の医療機関を選定をする際、**音声マイニングシステム**を活用し患者情報をテキストデータ化。
- ・ 患者データを医療機関が閲覧できるクラウド上に保存することにより、インターネット経由で患者情報を閲覧し応需可否を判断。

※システム導入に伴い医療機関で必要となるもの

インターネットに接続できる端末（パソコン・スマホ・タブレットなど）

【テキストデータ送信ができない場合については、従来どおり電話によって情報を伝達】

## 2 運用スケジュールについて

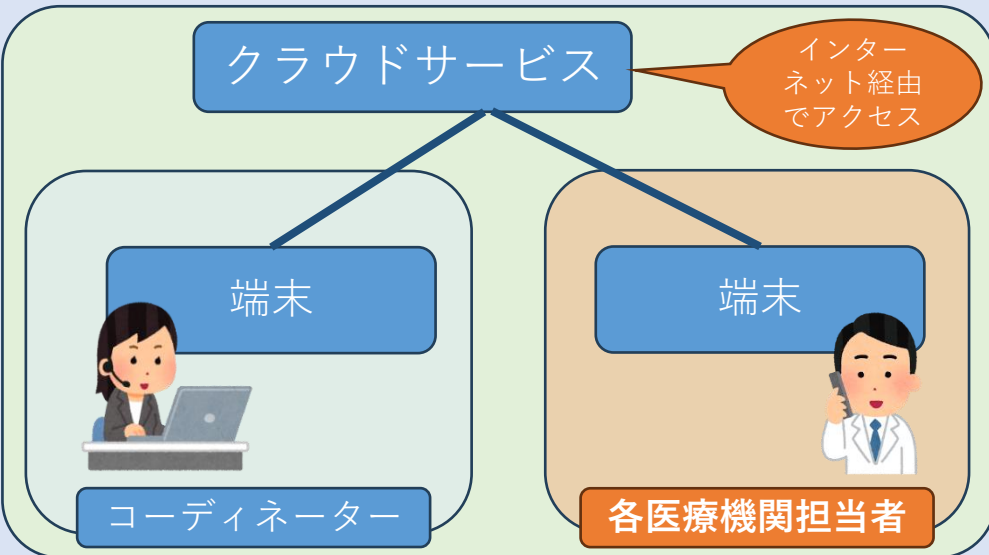
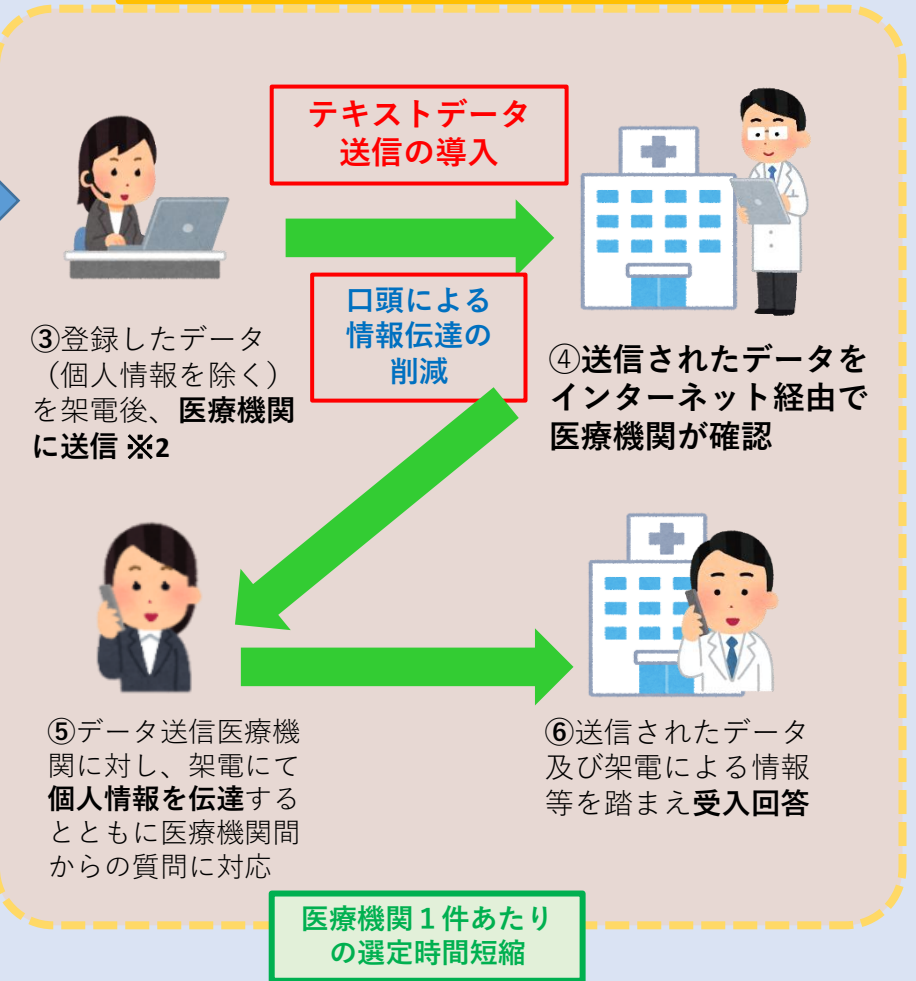
- ・ 令和7年10月1日より区西北部医療圏において試験運用を実施
- ・ その後、試験運用医療機関及び救急患者受入コーディネーターへのヒアリング等を経て、**令和8年2月2日より都内全域において本格運用を開始**

# 東京ルール事案患者情報伝送システム運用時の流れ

## ① 音声マイニングシステムを活用した患者データの作成



## ② 患者データを医療機関に送信※2



※1 音声マイニングシステム受付時データについては、テキスト化し各種記録として保存可能  
※2 医療機関に送信されるデータはクラウド上に保存され24時間でデータ取得不能となる。

